

## 平成30年度北区社会福祉協議会主要事業

## (3月末現在実績：評価と課題・方向性)

基本目標1 気づきあいと思いやりのある地域づくりを進めます。

基本方針1 福祉サービス制度や地域福祉計画・地域福祉活動計画について、区民への普及・啓発を一層進めます。

6 平成30年度北区地域福祉推進フォーラム

基本方針2 地域のつながりを大切にし、お互いに気づきあえる関係を構築し、福祉サービス制度等による支援を必要とする人を把握する体制づくりを進めます。

3 地域包括ケア推進に係る生活支援体制整備事業  
(支え合いのしくみづくり出前講座)

基本目標2 助け合い、支えあう地域づくりを進めます。

基本方針1 地域の力を活用して、支えあい・助けあいのための仕組づくりを進めます。

6 平成30年度自治・町内会長 地域福祉研修会

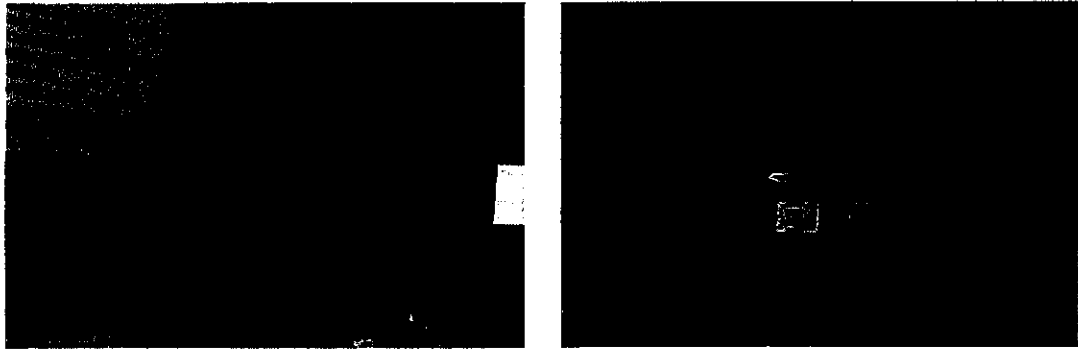
基本方針2 福祉文化の輪を広げるとともに、支えあい・助けあいを担う人材の育成を進めます。

2 サマーチャレンジボランティア2018

3 ボランティアきっかけづくり講座

4 平成30年度地域福祉座談会

平成 30 年度北区社会福祉協議会主要事業

基本目標 1	気づきと思いやりのある地域づくりを進めます。		
基本方針 1	福祉サービス制度や地域福祉計画・地域福祉活動計画について、区民への普及・啓発を一層進めます。		
	事業名	平成 30 年度北区地域福祉推進フォーラム	
事業目的・対象	<p>【目的】区民への地域福祉に関する啓発の機会および地域福祉計画・活動計画の推進</p> <p>【対象】北区区民等</p>		
開催年月日	平成 30 年 11 月 24 日（土）午後 1 時～4 時		
会場	新潟市北区文化会館		
参加者数	303 名	共催団体	北区健康福祉課
<p>【実施内容・効果】</p> <p>(1) 平成 30 年度新潟市北区社会福祉協議会会長表彰式 被表彰 14 個人 4 団体</p> <p>(2) 基調講演 語り継ぐもの～中越大震災 2004. 10. 23 震度 7～ 「顔の見える人間関係で、安心な街に」 講師 青葉台コミュニティ推進協議会 会長 畔上 純一郎 氏 「かあちゃんをつくる田舎料理が、地域の魅力に」 講師 農家レストラン「多菜田」代表 五十嵐 なつ子 氏</p> <p>(3) シンポジウム 「防災活動から始まる地域づくり」 コーディネーター 新潟医療福祉大学 副学長 丸田 秋男 氏 シンポジスト 青葉台コミュニティ推進協議会 会長 畔上 純一郎 氏 農家レストラン「多菜田」代表 五十嵐 なつ子 氏 前新潟市立有明台小学校長 長尾 嘉博 氏 長浦コミュニティセンター センター長 柳澤 明仁 氏</p> <p>(4) 閉会にかえて ～ジュニアマーチングバンドとよさかによる演奏～</p> <p>(5) アンケート結果については、別紙参照。</p>			
			

【平成30年度 北区地域福祉推進フォーラム】

<p>事業の評価 参加者の声 アンケート結果 より</p>	<p><b>【アンケート結果（全体の満足度）より】</b></p> <p>○フォーラム全体の印象としては、87.9%の方が「大変よかった」「よかった」との印象を持っていただいた。</p> <p>○基調講演「語り継ぐもの～中越大震災 2004.10.23 震度7」の印象としては、95.2%の方が「大変よかった」「よかった」との印象を持っていただいた。</p> <p>○シンポジウム「防災活動からはじまる地域づくり」の印象としては、84.9%の方が「大変よかった」「よかった」との印象を持っていただいた。</p> <p><b>【アンケート結果（ご意見・ご感想）より】</b></p> <p>○とてもよいテーマを取り上げたフォーラムであったと思います。今後も取り上げてもらいたいテーマであると思いました。</p> <p>○高齢化から多死時代に突入する。と言われているが、今から準備、将来に備えなければならない重要な事を考える場を検討願いたい。</p> <p>○こういう場所に来れば考える事、思う事がたくさんあると思うので、もっとたくさんの方から来てほしい。</p> <p>○北区全体町内会の取組み発表を行ってほしい。</p> <p>○防災意識を高めるためのヒントが得られるかと思い参加させていただいたが、地域づくりを進める地域の絆を強固にすることがいざという時の備えになると感じさせられた。</p> <p><b>【アンケート結果（今後希望するテーマ）より】</b></p> <p>○高齢化社会と地域づくりの実例</p> <p>○健康寿命、健康について</p> <p>○地域の支え合いの現状について、事例発表をしてほしい</p> <p>○超高齢化時代を迎えるに関する講座</p> <p>○地域福祉に取り組む若者の講演・フォーラム</p>
<p>課題と今後の方針</p>	<p>アンケート結果から、より多くの区民に参加し考えてほしいとの意見が多く寄せられた。より多くの区民が自身の地域のこととして捉えられるテーマの設定と参加の推進が課題としてある。</p> <p>身近な問題になりつつある『防災』をテーマとしたことに対する評価は高かった。</p> <p>「今後希望するテーマ」からは高齢化社会、健康、身近な実践事例、若者の取組み等キーワードが得られたので、今後も時勢に合った内容で、多くの区民に参加してもらえよう開催していく。</p>

平成 30 年度北区社会福祉協議会主要事業

基本目標 1	気づきと思いやりのある地域づくりを進めます。			
基本方針 2	地域のつながりを大切にし、お互いに気づきあえる関係を構築し、福祉サービス制度等による支援を必要とする人を把握する体制づくりを進めます。			
	事業名	地域包括ケア推進に係る生活支援体制整備事業 (支え合いのしくみづくり出前講座)		
事業目的・対象	<p>【目的】地域包括ケアシステム構築の背景や、支え合いの手法について理解を深め、支え合いの意識を醸成するとともに、地域での支え合いのしくみづくりの取り組みのきっかけになるように出前講座を開催する。</p> <p>≪講座内容≫</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 支え合いのしくみづくりと地域包括ケアシステム</li> <li>2. 地域の居場所（地域の茶の間・サロンなど）</li> <li>3. 訪問型生活支援（ちょっとした生活の困りごとのお手伝い）</li> <li>4. 地域交流（自治会行事など）</li> <li>5. 見守り・安否確認</li> <li>6. 支え合いのしくみづくり座談会</li> </ol>			
実施内容				
実施日	団体名・会議名／会場	圏域	内 容	人数
5/2 (水)	地域の茶の間「みどり会」運営検討会／杉名町公民館	葛塚 木崎 早通	【講話】 地域の茶の間ってなあに？役割と効果	7 名
5/7 (月)	J C (一般社団法人にいがた北青年会議所) 勉強会／町北幸  新潟市在宅医療・介護連携ステーション北と共催	北区	【講義】 地域包括ケアに向けてひとりひとりができること  【講師】 松田内科呼吸器科クリニック 松田先生  【グループワーク】 企業として地域包括ケアシステム～支え合いのしくみづくり～に何ができるのか	25 名
5/11 (水)	地域の茶の間「お越しください」／観音寺	松浜 南浜 濁川	【講話】 支え合いのしくみづくりについて  【グループワーク】 助け合い体験ゲームを活用して、生活上の困りごと、あったらいいな、この先心配なことについて	35 名

5/23 (水)	北区老人クラブ連合会 役員会／豊栄さわやか 老人福祉センター	北区	【講話】 地域包括ケアシステム ～支え合いのしくみづくり～	8 名
6/9 (土)	松浜新町スマイルサロ ン／松浜新町自治会館	松浜 南浜 濁川	【講話】 松浜地域の現状と地域の茶の間の役割に ついて 【グループワーク】 助け合い体験ゲームを活用して、生活上 の困りごと、あったらいいな、この先心 配なことについて	15 名
6/10 (日)	高森新田自治会サロン 「ふれあい福祉」／高森 新田公民館	岡方 長浦	【講話】 支え合いのしくみづくりと地域包括ケア システム 【グループワーク】 生活上現在困っていること、この先心配 なことについて	20 名
6/15 (金)	長場自治会「ピーチサロ ン長場」／長場公民館	岡方 長浦	【講話】 地域の茶の間の役割と効果 【グループワーク】 講話の感想、茶の間でやってみたいこと、 茶の間で自分ができそうなことについて	17 名
6/23 (土)	葛塚中央コミュニティ 協議会 支え合いのしくみづく り座談会／白新町公民 館	葛塚 木崎 早通	【講話】 地域包括ケアシステム ～支え合いのしくみづくりについて～ 【グループワーク】 ①地域の現状、困りごと ②困りごとに対してどんなことができた ら良いのか	33 名
7/25 (水)	松浜東町自治会地域の 茶の間「あずまや」／松 浜東町自治会館	松浜 南浜 濁川	【講話】 地域の茶の間の役割と効果 【グループワーク】 松浜東町の良いところや、あったらいい なと思うものやこと、「あずまや」でして みたいこと、どうしたら具体的に行える か	13 名
8/30 (木)	ギョットつなごう健康 サロン／早通健康福祉 会館	葛塚 木崎 早通	【講話】 サロン参加や地域で役割があることが健 康に与える効果について 【グループワーク】 助け合い体験ゲーム	46 名

8/30 (木)	区役所向け講座  新潟市在宅医療・介護連携ステーション北と共催「医療と介護の出前セミナー」	北区	【講話】 支え合いのしくみづくりについて	19 名
9/1 (土)	笹山ふれあい好日会/ 笹山公民館	葛塚 木崎 早通	【講話】 支え合いのしくみづくり ～地域の支え合い～ 【グループワーク】 ご近所助け合い体験ゲーム	16 名
10/17 (水)	北3地区合同民協定例会研修会/ 北出張所	松浜 南浜 濁川	【講話】 支え合いについて	55 名
11/5 (月)	朝日町万年青クラブ出前講座/ 朝日町公民館	葛塚 木崎 早通	【講話】 支え合いのしくみづくり ～地域の助け合い～ 【グループワーク】 ご近所助け合い体験ゲーム	30 名
11/7 (水)	長場自治会「ピーチサロン長場」出前講座/ 長場公民館	岡方 長浦	【グループワーク】 ①6月の出前講座時に行ったグループワークの振り返り ②前回講座後より新たに取り入れた「区づくり事業 専門職の派遣事業」の講座(4回実施)・「新潟総踊り体操」実施の感想 ③今後サロンで行いたいこと ④交通に関する情報提供	14 名
11/11 (日)	石動自治会「地域福祉講演会」/ ドリームカレッジ	葛塚 木崎 早通	【講義】 お互いさまのちいきづくり ～超高齢社会における2025年問題～ 【講師】 新潟医療福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 青木准教授 【グループワーク】 支え合いについて	17 名
11/20 (火)	十二自治会サロンさくら会出前講座/ 十二ふれあいセンター	岡方 長浦	【グループワーク】 ご近所助け合い体験ゲーム	10 名

11/28 (水)	内島見健康サロン出前 講座／内島見公民館	葛塚 木崎 早通	【講話】 支え合いのしくみづくり ～地域の助け合い～	30 名
12/9 (日)	平成30年度第1回北新 潟ちいきづくり学会(は まなす学会)研修会／新 潟医療福祉大学	松浜 南浜 濁川	【テーマ】 「住み慣れた地域で自分らしい暮らしを 続けることを支えるしくみ」について考 える 【報告】 ①SCとは、地域包括ケアシステムとは ②地域の茶の間について ③住民主体の生活支援について ④つながる新潟の地域力について ⑤支え合いのしくみづくりの出前講座に ついて	35 名
2/6 (火)	長場自治会「ピーチサロ ン長場」／長場公民館	岡方 長浦	【グループワーク】 週1回への茶の間移行を踏まえて、活動内 容や担い手を広げることを目的とした話し 合い。	14 名
2/16 (土)	大月老人クラブ出前講座 ／大月公民館	岡方 長浦	【グループワーク】 ご近所助け合い体験ゲーム	22 名
2/16 (土)	太田ちいきコミュニティ 協議会座談会／太田古屋	葛塚 木崎 早通	【講話】 支え合いのしくみづくりについて 【グループワーク】 テーマ「支え合える地域にしていくため には」 ①地域の現状、困りごと ②困りごとに対してどんなことができ たら良いのか	13 名
2/23 (土)	葛塚東小学校区コミュニ ティ協議会座談会	葛塚 木崎 早通	【講話】 支え合いのしくみづくりについて 【グループワーク】 テーマ「支え合える地域にしていくため には」 ①活動状況について ②既存の活動を発展させるためにどん なことができれば良いのか	37 名




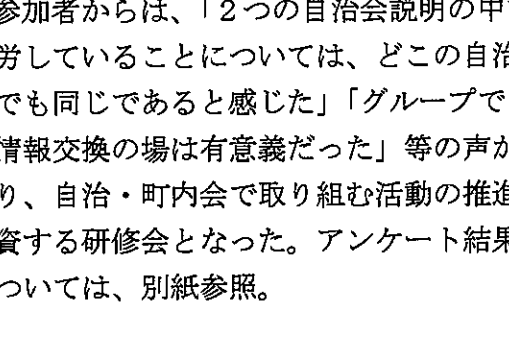
2/25 (月)	北区老人クラブ連合会若 手部リーダー研修会／豊 栄地区公民館	北区	【講話】 支え合いのしくみづくりについて 【グループワーク】 ご近所助け合い体験ゲーム	19 名
2/26 (火)	白勢町ひまわり会／白勢 町自治会館	松 浜 南 浜 濁 川	【講話】 支え合いのしくみづくりについて 【グループワーク】 ご近所助け合い体験ゲーム	15 名
3/3 (日)	平成 30 年度 はまなす学 会&コミュニティ・カレ ッジ合同研究会／新潟医 療福祉大学  ※北新潟ちいきづくり学 会、北地区公民館主催	松 浜 南 浜 濁 川	【現状報告】 自治会の抱える地域課題の現状について 3自治会からの現状報告 【意見交換】 「住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続 けることを支えるしくみ」について意見交 換	約 50 名
合 計				約 615 名



## 【地域包括ケア推進に係る生活支援体制整備事業】



<p>事業の評価 担当者の所感 より</p>	<p><b>【支え合いのしくみづくり出前講座より】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○主催者の実施ニーズに基づき、各圏域の支え合いのしくみづくり推進員が主催者と打合せを行い、オーダーメイドで講座を開催している。</li> <li>○アンケート調査等は実施していないが、支え合いのしくみづくり推進員が地域に出向き区民と接した時の感覚として、支え合いのしくみづくりの必要性を含め、認知度は広まっていると思われる。</li> </ul> <p><b>【平成30年度「北区助け合いの学校」アンケート結果より】</b> 平成31年3月7日（木） 葛塚コミュニティセンター 参加者47名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○講座の満足度としては、90.9%の方が「とてもよかった」「まあまあよかった」と回答いただいた。</li> <li>○講座を受けて、助け合いをお願いしたいと思ったかの問いには、68.2%の方が「思う」と回答した。</li> <li>○講座を受けて、実際に助け合い活動に取り組んでみたいと思ったかの問いには、50.0%の方が「思う」と回答した。</li> </ul> <p><b>【その他の自由意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○たくさんの事例を交えて説明を進めてくださったので、他人のお宅に入る心得、マナーが分かりやすく心に入っていました。</li> <li>○気がつかないで、間違ったことをしてしまいそうなことを聞かせていただいていた良かったです。</li> <li>○助け合いの学校を何回もやって欲しい。手助けする人を増やしたい。</li> <li>○普段の人付き合いの中でも、共通する相手を思いやる気持ちを改めて再認識させられました。気をつけて対応しているつもりですが、今日からさらに自分を磨いていきたいと思いました。</li> </ul>
<p>課題と今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○支え合いのしくみづくり出前講座については、少しずつ区内に支え合いのしくみづくりの必要性が浸透している実感が得られているため、引き続き、主催者の要望に加え支え合いのしくみづくり推進員として伝えたい内容も含めた形での講座を実施する。</li> <li>○助け合いの学校については、アンケート結果からも事業実施効果は大きいことが確認される。講座受講をきっかけに新たに助け合い活動を開始する自治会もあり、これから助け合い活動の開始を検討している団体を後押しするきっかけとしても必要な事業と判断される。次年度以降も北区内で開催ができるよう検討を進める。</li> </ul>

平成 30 年度北区社会福祉協議会主要事業

基本目標 2	助けあい、支えあう地域づくりを進めます。		
基本方針 2	地域の力を活用して、支えあい・助けあいのための仕組みづくりを進めます。		
	事業名	平成 30 年度自治・町内会長 地域福祉研修会	
事業目的・対象	<b>【目的】</b> 自治・町内会における世代交流や見守り活動などの推進 <b>【対象】</b> 自治・町内会長、自治・町内会役員等		
開催年月日	①平成 30 年 7 月 24 日（火）午後 1 時 30 分～3 時 30 分 ②平成 30 年 7 月 26 日（木）午後 1 時 30 分～3 時 30 分		
会場	①豊栄地区公民館 大講堂 ②北地区公民館 大ホール		
参加者数	169名	共催団体	北区健康福祉課
<b>【実施内容・効果】</b> 1. 説明「参加しやすい自治・町内会のあり方」 講師 新潟医療福祉大学社会福祉学部 教授 渡邊敏文 氏 2. 北区内の自治・町内会の取り組み事例紹介 事例発表 三ツ屋自治会、つくし野自治会 3. 情報交換 4. 北区社会福祉協議会、北区健康福祉課による事業説明 参加者からは、「2つの自治会説明の中で苦勞していることについては、どこの自治会でも同じであると感じた」「グループでの情報交換の場は有意義だった」等の声があり、自治・町内会で取り組む活動の推進に資する研修会となった。アンケート結果については、別紙参照。			
			
			



【平成30年度 自治・町内会長 地域福祉研修会】


<p>事業の評価 参加者の声 アンケート結果 より</p>	<p>【アンケート結果（参考度）より】 ○内容の参考度としては、93%の方が「大変参考になった」「参考になった」と回答した。</p> <p>【アンケート結果（ご意見・ご感想）より】 ○色々な自治・町内会のお話を聞かせていただき参考になったこともありました。 ○2つの自治会説明の中で苦勞されていることについては、どこの自治会でも同じであると感じました。 ○参加された自治会の困りごとを發表してヒントになる解答があつて有意義なものだと感じた。 ○グループでの意見交換は大変良かった。自由に話しができる時間に気づきがあつた。</p> <p>【アンケート結果（次年度の開催内容）より】 ○今回のような形式でやってもらいたい。同じ内容でよいのではないか。 ○發表が無いから気持ちが楽で話し合いができる。 ○新人自治会長に声掛けをして実施してほしい。ベテランはあまり必要が無いのではないか。 ○しばらく継続してほしい。自治会長が現在困っていることが多いので、研修内容の検討時調査をしてほしい。 ○自治会に若い人をどのように参加してもらうことができるのか。魅力のある自治会とは。 ○[高齢者の認知症][個人情報に対する問題点][津波・災害時の避難行動][防災リーフレットの説明][お茶の間サロンの拡大]</p>
<p>課題と今後の方針</p>	<p>参考となる他の自治・町内会活動の説明について、区社協があいだに立って研修会での發表や自治・町内会での發表をコーディネートし、更なる研修会の充実を図る。 開催の形態としては現状を維持し、「今後希望するテーマ」等を参考に、今後も自治会長の困りごとに応じた内容で開催していく。</p>

平成 30 年度北区社会福祉協議会主要事業			
基本目標 2	助けあい、支えあう地域づくりを進めます。		
基本方針 2	福祉文化の輪を広めるとともに支えあい・助けあいを担う人材の育成を進めます。		
	事業名	サマーチャレンジボランティア 2018	
事業目的・対象	<p>【目的・効果】</p> <p>①学生が地域活動や福祉の現場を直接知るとともに、福祉やボランティアに関心を持つ機会とする。</p> <p>②ボランティア体験により、参加者が自分も社会の一員であることを自覚し、また、自己有用感・自己肯定感につなげる。</p> <p>③学生の受け入れを通して、福祉施設や団体等が地域の社会資源であることを意識し、地域貢献につながるようなきっかけづくりとする。</p> <p>【対象】高校生・専門学生・短大生・大学生</p>		
開催年月日	<p>①（チャレンジ期間）平成30年7月29日（日）～8月31日（金）</p> <p>②（開校式）平成30年7月22日（日）・26日（木）</p> <p>（閉校式）平成30年9月 2日（日）</p>		
会場	<p>①各区活動先（北区活動先別紙参照）</p> <p>②新潟市総合福祉会館 大集会室</p>		
参加者数	121名	共催団体	
<p>【実施内容・効果】</p> <p>○新潟市社会福祉協議会全体の取組みとして、開校式・閉校式を新潟市総合福祉会館で実施した。北区では12の福祉施設・団体から受入協力をいただき、北区在住の参加学生は6名だった。</p> <p>○活動受け入れ先の2施設（新潟北愛宕の園・葛塚東第2ひまわりクラブ）へ出向いたところ、受入側の配慮により徐々に慣れて活動をしている参加学生の様子も見る事ができた。</p> <p>○サマーチャレンジボランティアの活動は、受入協力施設にとっても、ボランティアを受け入れる際の対応等を学ぶ場となる。また、参加学生は人によるこびを与えるうれしさを感じることができ、今後のボランティア活動や職業選択につながる体験の場となっている。</p>			
			

## 【サマーチャレンジボランティア2018】

<p>事業の評価 参加者の声 アンケート結果 より</p>	<p><b>【参加者アンケート結果より】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○参加者の94%が「今後もボランティアをしてみたい」と回答している。</li> <li>○多くの生徒が、貴重で充実した体験ができたと感想を述べている。 また、ボランティアのこと以外にも、将来のこと等を考えることができたなど、実際に体験することで多くのことを学ぶ機会となったようだ。</li> <li>○普段の生活では出会えない多くの人との交流に刺激を受け、感動し、自分自身の有用感を実感している人が多くいる。</li> </ul> <p><b>【受入施設アンケート結果より】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○95%の施設が「利用者に良い効果があった」と回答している。今後も受け入れを歓迎する声が多くあった。</li> <li>○学生が来た日は、利用者の笑顔が増え、職員にも活気が出るなど、良い刺激になったようだ。</li> <li>○マンパワー不足もあったので、非常に助かったという声もあった。</li> </ul>
<p>課題と今後の方針</p>	<p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○そもそも、北区での活動を希望する生徒が少ない。そのため、施設がエントリーしても参加希望者がいないという現状がある。</li> <li>○祭りなど、お楽しみ的な行事に参加者が偏る傾向がある。</li> </ul> <p><b>【今後の方針】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○北区在住の参加者、北区での活動を希望する学生を増やすこと。</li> <li>○体験に勝る学びはなく、ボランティア活動が持つ力で若い人の心を育てる当事業を継続していきたい。</li> </ul>

平成 30 年度北区社会福祉協議会主要事業			
基本目標 2	助けあい、支えあう地域づくりを進めます。		
基本方針 2	福祉文化の輪を広めるとともに支えあい・助けあいを担う人材の育成を進めます。		
	事業名	ボランティアきっかけづくり講座	
事業目的・対象	<p>【目的・効果】 配食サービスが終了したことを受けて、調理や配食に携わっていたボランティアの方々が、次の活動に取り組むためのきっかけの機会として開催する。</p> <p>【対象】 配食サービス事業に参加していたボランティア</p>		
開催年月日	<p>① 平成30年6月28日(木)・7月5日(木)</p> <p>② 平成30年7月11日(水)・7月18日(水)</p> <p>①②午後1時30分～4時</p>		
会場	<p>①北区豊栄健康センター</p> <p>②岡方コミュニティセンター</p>		
参加者数	20名	共催団体	
<p>【実施内容・効果】</p> <p>※同一プログラムを2会場で実施</p> <p>[1日目]・講話「ボランティアとは」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験「車いす利用者のサポートについて」</li> <li>「聴覚障がい者のサポートについて」「視覚障がい者のサポートについて」</li> </ul> <p>[2日目]・体験「絵と手紙」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動紹介</li> </ul> <p>○配食サービスの活動はベテランであっても、ボランティア活動やサポートの仕方等の基本を学ぶのは初めてという人が多く、どのプログラムも新鮮だったようで、勉強になったという感想を多くいただいた。</p> <p>○2回目の絵と手紙は大好評で、活動に活かしたいとか、これから活動としてやってみたいという声もあった。講座修了後、ボランティアグループ立ち上げることができ、福祉施設での活動につなげることができた。</p>			
			

平成 30 年度北区社会福祉協議会主要事業			
基本目標 2	助けあい、支えあう地域づくりを進めます。		
基本方針 2	福祉文化の輪を広めるとともに支えあい・助けあいを担う人材の育成を進めます。		
	事業名	ボランティアきっかけづくり講座	
事業目的・対象	<p>【目的・効果】</p> ボランティアの基礎的な知識や必要な技術を学び、活動に参加するきっかけの機会とする。 <p>【対象】</p> ボランティア活動に関心がある人		
開催年月日	<p>【1日目】 平成31年3月15日（金）</p> <p>【2日目】 平成31年3月22日（金）</p>		
会場	北区豊栄健康センター		
参加者数	6名	共催団体	
<p>【実施内容・効果】</p> <p>[1日目]・講話「ボランティアとは」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講話と体験「高齢者の身体の特性と高齢者疑似体験」</li> </ul> <p>[2日目]・体験「車いす利用者にサポートの方法」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験「視覚障がい者のサポートの方法」</li> <li>・体験「誰でも使える、生活を豊かにする道具を紹介」</li> <li>・活動紹介</li> </ul> <p>○参加者は少なかったが、その分、参加者一人一人の想いに寄り添った講座となった。活動を探す人、基礎を学びたい人等、皆が満足をして終わることが出来たようだ。さっそく活動につながった人もいる。</p> <p>○最近は特定の活動に特化した講座が多い。どのような活動をするにしても、ボランティア活動の基本を学ぶことを大切にし、ボランティアをして良かったと思えるよう、支援していきたい。</p>			
			

## 【ボランティアきっかけづくり講座】

<p>事業の評価 参加者の声 アンケート結果 より</p>	<p><b>【内容・時間等について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○内容に関する問いに対して、全員が参考になったと回答している。</li> <li>○開催時間（2回連続、各日2時間強の講座）は、ちょうど良いという回答が94%だった。短期間、短時間の設定が参加しやすいようだ。</li> <li>○障害のある人のサポート方法や絵と手紙のボランティア活動などを初めて体験し、出来ることがあれば役に立ちたいという、前向きな声が多かった。</li> <li>○「楽しかった」という声が多かった。座学だけでなく、体験を多く取り入れたこと、参加者同士や講師との交流ができたことが「楽しさ」につながったのだろう。</li> </ul> <p><b>【今後やってみたい活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ちょっとしたおやつ等を作る活動</li> <li>○小さい事でも地域の役に立ちたい</li> </ul>
<p>課題と今後の方針</p>	<p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○配食サービスボランティアの活動者を対象に呼びかけたが、参加者が少なかった。</li> <li>○活動をやめてしまった人にこそ参加していただきたくて開催したが、既に別な活動を始めている人が参加者の多数を占めていた。</li> <li>○少しでも地域の役に立ちたいという人は多いが、いざ活動をととなると、講座での反応の良さの割に繋がっていかない。</li> </ul> <p><b>【方針】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○今後もボランティア講座開催の際に案内をし、活動につなげていきたい。</li> <li>○参加したいと思う内容とアプローチの方法を検討していきたい。</li> </ul>



平成 30 年度北区社会福祉協議会主要事業				
基本目標 2		助けあい、支えあう地域づくりを進めます。		
基本方針 2		福祉文化の輪を広めるとともに支えあい・助けあいを担う人材の育成を進めます。		
事業名		平成 30 年度地域福祉座談会		
事業目的・対象		<p>【目的】「北区すこやか・あんしん・支えあいプラン 2015」に掲げた地区別計画の推進を図るため、日常生活圏域において広く地域の声を集め、取り組むべき課題を整理し、共通の理解を深める。</p> <p>※北区地域福祉計画・活動計画の実施計画に基づき、北区健康福祉課との共催により実施。</p>		
実施内容				
地区	開催日時	会場	テーマ	参加人数
松浜	11月20日(火) 14:00~16:00	北出張所 3階 ホール	①地区別計画の取り組みに対する振り返り ②現状の課題の整理、検討	13名
南浜	12月7日(金) 13:30~15:30	南浜連絡所 2階 ホール		39名
濁川	11月17日(土) 13:30~15:30	濁川連絡所 2階 ホール		9名
葛塚	11月30日(金) 10:00~12:00	葛塚コミュニティセンター 1階 研修室A・B	①地区別計画の取り組みに対する振り返り ②葛塚地区の助け合いに、住民ひとりひとりが、近所等にも関心を持ってもらうために自分たちができること	39名
木崎	12月12日(水) 13:30~15:30	木崎コミュニティセンター1階ホール	①地区別計画の取り組みに対する振り返り ②現状の課題の整理、検討	24名
岡方	12月21日(金) 14:00~16:30	岡方コミュニティセンター1階ホール		34名
長浦	12月20日(木) 13:30~15:30	長浦コミュニティセンター1階ホール		24名
早通	12月6日(木) 13:30~15:30	早通コミュニティセンター2階講堂	①地区別計画の取り組みに対する振り返り ②10年後の早通地区の姿を想定し、幸せに暮らすために今何をすべきか	16名
			合計	198名

[参考] 平成 29 年度 213名

地区	座談会で出された主な意見（新たな課題）
松浜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミ捨てや買い物、除雪について、自治・町内会内において既にたすけあいの活動がなされている所がある一方で、そうした活動がない所もある。</li> <li>・タクシーでスーパーに行く人を見かける。また、町中の商店で配達してくれるところがあったが、利用者がいなくて止めたという話も聞く。</li> <li>・普段から気にかけているが、外出できない人や困っている人自体が分からない。</li> <li>・自治会の人口が減っていて、空き家になる。</li> <li>・将来を見通して、今の子育て世代に重点的に福祉の支援が必要。</li> <li>・活動団体の数が減少。老人クラブ、自治・町内会婦人部、地域の茶の間等。</li> </ul>
南浜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居場所が必要だと思っている。</li> <li>・除雪の助けあいがあるとよい。</li> <li>・区バスの本数（特に午後の便）が増えるとよい。帰りの便が少ないため、利用を控えている意見もある。</li> <li>・認知症が病気であることを理解してもらいたい。</li> <li>・高齢化により、活動の場が繋がらない。老人会はあるけれど、活動が不活発で決まった人しか参加のない状況。</li> <li>・夏休みのプール解放がなくなったため、子どもたちの遊び場が少なくなった。</li> </ul>
濁川	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月に1回のお茶のみ（サロン等）はあるが、随時自由に参加できる所が欲しい。オープンな交流スペースが欲しい。</li> <li>・自治会と民生委員と連携協働していけるとよい。</li> <li>・交流を図り顔なじみの関係が必要。</li> <li>・コミ協の行事に参加するが、会場まで距離があり行くことが困難、移動手段がない（特に高齢者）参加はしたいが行けない。</li> <li>・高齢者の男性が活動に出てこない。</li> <li>・子供会、自治会との活動のための、まとめ役・リーダーが必要。</li> </ul>
葛塚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昔から住んでいる方も近所との交流が無くなっている。</li> <li>・老人クラブに参加していない人の支え合いをどうしたら良いのかが課題。</li> <li>・高齢者の人は隣近所とのつきあいがいいことが、訪問をしていてわかった。</li> <li>・結婚していない40代50代のこどもがいる。若年世代が減り、小学校も閉校となるなど、若い世代がいなくなることが心配。</li> <li>・自治会長の次のなり手がいない。みんなリーダーになりたがらない。</li> <li>・子ども会に参加する時間が取れない、関わりたくないなど、子ども会を脱会したい声があり心配。</li> </ul>

木崎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近所とのつながりが希薄。</li> <li>・高齢者独居、空き家が増えている。</li> <li>・自治会長が1年で交代するので、どうしても前年度の内容を踏襲することだけになってしまう。</li> <li>・子どもの減少、地区内の小学校の統合問題が現実。学校に対する考え方も、若い親世代と高齢者では違いがある（複式学級で学ばせたくない・地域に学校は必要等）。</li> <li>・未婚世帯が増えて後継者がいない。子どもが増えないので、地域が活性化しない。</li> <li>・ボランティアひとつをとっても担い手がない。若い世代が来ない。若い世代の意見を聞いてみたい。</li> </ul>
岡方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岡方全体の集いの場はできたが、小さな自治会単位での集いの場が足りない。</li> <li>・登下校の見守りボランティアなど、無条件に自分たちの地域は自分たちが守るという意識がある。</li> <li>・日常の買い物に困る。免許返納者の移動手段がない。</li> <li>・高齢者の孤独や孤立が増え、これから先、家族葬が増えてくるのではないかと個人情報を教えたがらない人が出て、なじらネットワークに影響するのではないかと心配だ。</li> <li>・空き家が増えてきている。管理されず、放置されることにより、環境が悪くなる。町と違って、岡方は敷地が広いため、荒れ放題になる懸念がある。安心安全ではなくなる。</li> <li>・自治会活動や地域の茶の間活動の担い手の後継者がいない。次の世代がいない。</li> </ul>
長浦	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茶の間の運営が難しい。</li> <li>・世代間交流が少ない（若い世代がなかなか行事に出てこない）。</li> <li>・除雪などの困りごとを、隣近所では対応するのは困難。困りごとを解決するしくみを、自治会など組織としてつくれるとよい。</li> <li>・買い物や病院の通院が不安。交通手段がない。運転できても、重たい物を持つての移動に不安。</li> <li>・独居高齢者や、日中独居高齢者の困りごとが見えにくい。</li> <li>・空き家が増えている。生活環境が悪くなるし、不審者が子どもを連れ込むなどの心配もある。</li> </ul>
早通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報紙の活用(すくらむ) インターネットの活用、作成メンバーに若い人を加える。</li> <li>・有償のボランティア（ささえ愛ネットのようなシステム作り）。</li> <li>・近隣の人たちに関わる。まずは声掛け、男性の参加を増やすバーベキューを開催するなど、参加のきっかけの場を作る・子どもを集めよう（親もついてくる）。</li> <li>・空き家を有機的に結び付ける。</li> <li>・子ども、若者、年寄りの集える場所が必要。たとえば公園、今ある場所を有効活用する。</li> </ul>

**【平成30年度 地域福祉座談会】**

<p>事業の評価 参加者の声 アンケート結果 より</p>	<p><b>【アンケート結果（地区別計画の振り返り）より】</b> ○「よかった」と回答いただいた方が46.4%、「ふつう」と回答いただいた方が46.4%、「よくなかった」と回答いただいた方が2.8%であった。</p> <p><b>【アンケート結果（説明に対する理解度）より】</b> ○「よくわかった」と回答いただいた方が31.5%、「だいたいわかった」と回答いただいた方が54.7%、「わからなかった」と回答いただいた方が5.5%であった。</p> <p><b>【アンケート結果（グループワークの内容）より】</b> ○「よかった」と回答いただいた方が67.4%、「ふつう」と回答いただいた方が23.8%、「よくなかった」と回答いただいた方が1.6%であった。</p> <p><b>【アンケート結果（ご意見・ご感想）より】</b> ○積極的な意見があり、地域課題の整理ができた。 ○今回の形式は意見が出しやすく良かった。テーマが決まっていたのでそれに沿って話しやすかった。 ○地域住民の困っていることや自治会の考えなど聞くことができて良かった。 ○定期的に実施していただきたい。</p> <p><b>との意見の反面</b> ○出席者を増やさないで新しい意見が出てこない。いつも同じ話になる。 ○各自治会の役員等キーマンが参加していないので解決策が見えてこない。 ○説明と資料が多い。 などの意見もいただいた。</p>						
<p>課題と今後の方針</p>	<p>次期計画策定に向けた、地域福祉座談会の実施予定</p> <table border="1" data-bbox="427 1451 1433 1742"> <tr> <td data-bbox="427 1451 694 1552">平成30年度 地域福祉座談会</td> <td data-bbox="694 1451 1433 1552"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区別計画の取り組みに対する振り返り</li> <li>・現状の課題の整理、検討</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="427 1552 694 1653">令和元年度 地域福祉座談会</td> <td data-bbox="694 1552 1433 1653"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度に出された地区別課題に対する取り組みの検討</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="427 1653 694 1742">令和2年度 地域福祉座談会</td> <td data-bbox="694 1653 1433 1742"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30・令和元度を踏まえての地区別課題に対する取り組みの方向性のまとめ・確認</li> </ul> </td> </tr> </table> <p>今年度は地区別計画の取り組みに対する振り返り、現状の課題の整理を実施。広く参集者を募り多くの意見を出していただいた。</p> <p>来年度以降は、次期計画策定に向け取り組みの方向性をまとめ、具体的な取り組みを整理しまとめていく段階となるため、参集者を絞り込み論点を絞った話し合いを実施していく。</p>	平成30年度 地域福祉座談会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区別計画の取り組みに対する振り返り</li> <li>・現状の課題の整理、検討</li> </ul>	令和元年度 地域福祉座談会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度に出された地区別課題に対する取り組みの検討</li> </ul>	令和2年度 地域福祉座談会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30・令和元度を踏まえての地区別課題に対する取り組みの方向性のまとめ・確認</li> </ul>
平成30年度 地域福祉座談会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区別計画の取り組みに対する振り返り</li> <li>・現状の課題の整理、検討</li> </ul>						
令和元年度 地域福祉座談会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度に出された地区別課題に対する取り組みの検討</li> </ul>						
令和2年度 地域福祉座談会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30・令和元度を踏まえての地区別課題に対する取り組みの方向性のまとめ・確認</li> </ul>						